



本校は令和5年度より、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、より一層、地域との連携に取り組んでいきます。

今年度は第1回学校運営協議会（古川浩樹校長を含め8名の委員と教職員7名）を5月20日（火）に実施しました。

古川校長から今年度の学校経営方針の説明があったのち、各委員から学校運営についての御意見をいただきました。本校のスクール・ミッションにある「グローバル社会を牽引する人財の育成」を中心に置き、昨年度取り組んできた熟議テーマに関する個別の課題について報告と質疑応答を行いました。

《個別の課題》

昨年度の成果についての報告

- ① PTAの在り方
- ② 国際交流・異文化体験プログラムの開発

昨年度のからの継続事項

- ③ 部活動改革の方向性と在り方
- ④ 「弘高ねぶた」の持続的な体制づくり
- ⑤ 「探究」指導体制の確立
- ⑥ 学校DX化の推進



～委員からの御意見、御質問～

国際交流のプログラムについて、年間を通してのプログラムの全体像を提示したことで、生徒もこのプログラムをやっていくとグローバル人材に近づけるという道筋を示すことができた。

今後、探究でポイントとなっていくのは、いかに指導と評価を連携していくかということ。弘前高校のモデルを作り、どんどん外に発信してほしい。

高校生海外フィールドワーク事業に、弘前高校のチームが採択されることを強く願っている。

たくさん資料を準備していただいております。古川校長にエールを送るとすれば、最後の年だから、小さくならず、やりたいことを全部やって終わってください。

特に印象に残っているのがPTAの在り方について、丁寧な取組で体制を整えたというところに敬意を表したい。

次回の学校運営協議会は、7月中旬に実施の予定で、生徒のねぶた制作の様子を見学したのちに、協議をしていきます。